

小泉首相が靖国参拝



参拝のため靖国神社を訪れ本殿に向かう小泉首相
= 15日午前7時45分、東京・九段北

「公約」を実現

小泉純一郎首相は十五日午前、東京・九段北の靖国神社を参拝した。首相は二〇〇一年の就任以来、年に一回の参拝を続け、今回が六回目だが、終戦記念日の

参拝は初めてで、現職首相としては一九八五年の中曽根康弘氏以来二十一年ぶり。モーニング姿で本殿に上がる「昇殿参拝」で、「内閣総理大臣 小泉純一郎」

終戦記念日 現職は21年ぶり

中韓両国、強く反発

と記帳した。

九月退陣を前に、〇一年の自民党総裁選で宣言した「公約」を果たす狙いがある。昭和天皇がA級戦犯合祀（ごうし）に不快感を示したとされる元宮内庁長官のメモ判明後の参拝だけに、党総裁選や次期首相の政権運営で靖国問題が大きな焦点になるのは確実。中韓両国はあらためて反発を強めている。

首相は十五日午前七時四〇分、公用車で靖国神社に到着。本殿に上がり神道方式ではなく一礼した。私費で献花料三万円を納めた。

※詳細は八月十六日付の長崎新聞で
ごらんください。

長崎新聞社情報メディア室制作